



저작자표시-비영리-변경금지 2.0 대한민국

이용자는 아래의 조건을 따르는 경우에 한하여 자유롭게

- 이 저작물을 복제, 배포, 전송, 전시, 공연 및 방송할 수 있습니다.

다음과 같은 조건을 따라야 합니다:



저작자표시. 귀하는 원저작자를 표시하여야 합니다.



비영리. 귀하는 이 저작물을 영리 목적으로 이용할 수 없습니다.



변경금지. 귀하는 이 저작물을 개작, 변형 또는 가공할 수 없습니다.

- 귀하는, 이 저작물의 재이용이나 배포의 경우, 이 저작물에 적용된 이용허락조건을 명확하게 나타내어야 합니다.
- 저작권자로부터 별도의 허가를 받으면 이러한 조건들은 적용되지 않습니다.

저작권법에 따른 이용자의 권리는 위의 내용에 의하여 영향을 받지 않습니다.

이것은 [이용허락규약\(Legal Code\)](#)을 이해하기 쉽게 요약한 것입니다.

[Disclaimer](#)

教育學碩士 學位論文

韓国語母語話者を対象とした日本語の
指示詞の誤用に関する研究



2010年 8月

釜慶大學校 教育大學院

日本語教育專攻

具 武 伴

教育學碩士 學位論文

韓国語母語話者を対象とした日本語の 指示詞の誤用に関する研究

指導教授 張相彦

이 論文을 教育學碩士 學位論文으로 提出함.

2010年 8月

釜慶大學校 教育大學院

日本語教育專攻

具 武 伴

具武伴의 教育學碩士 學位論文을
認准함



主審 朴 榮 淑 (인)

委員 孫 東 周 (인)

委員 張 相 彦 (인)

目次

*Abstract	vi
I. 序論	1
1. 1 本研究の背景と目的	1
1. 2 はじめに	1
1. 3 先行研究	2
1. 4 研究方法	5
1. 5 韓・日間の文脈指示の使用法における仮説	6
1. 6 本研究の考察対象	9
II. 本論	11
2. 1 多岐選択式の問題用紙の調査人数及び、対象者	11
2. 2 多岐選択式の問題用紙の調査時間	11
2. 3 多岐選択式の問題用紙の概要	11
2. 4 多岐選択式の問題用紙を通しての分析調査	14
2. 5 多岐選択式の問題用紙の分析結果	14
2. 5. 1 相対的現場指示の融合型の「ア系」	14
2. 5. 2 相対的現場指示の融合型の「ソ系」	17
2. 5. 3 相対表現指示	20
2. 5. 4 独立的話題指示の「非共有のア系」	23
2. 5. 5 相対的話題指示の「共有のア系」	26

2. 5. 6 相対的課題指示の「非共有のソ系」	28
Ⅲ. 結論	32
3. 1 まとめ	32
実際に使用したアンケート用紙	36
参考文献	39



A Study the misuse of a Japanese demonstrative
pronoun

-Case for the Japanese Learners in Korea-

Moo Ban Koo



Abstract

The present paper deals with the performing ability of the usage of the Japanese demonstrative pronouns (JDP) by Japanese Learners in Korea (KJL).

I noticed that the KJL produces many misuse of JDP when I have a conversation with them.

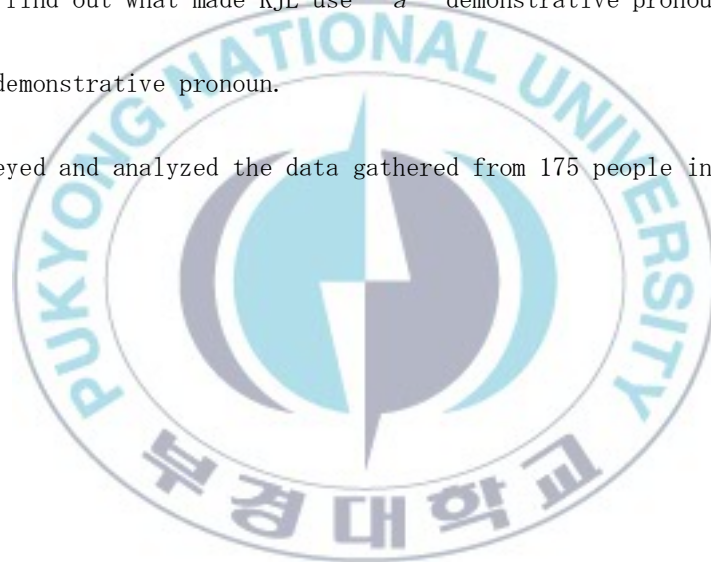
I thought this would be an interesting issue. And this made me study on the issue.

It is widely known that Japanese Language has a system of “*ko-so-a-do*” demonstrative pronouns according to the physical and psychological distance between the speaker, the hearer and the object.

KJL tend to use “*a*” demonstrative pronoun instead of “*so*” demonstrative pronoun, which is the proper usage in Japanese Language.

I tried to find out what made KJL use “*a*” demonstrative pronoun instead of “*so*” demonstrative pronoun.

And I surveyed and analyzed the data gathered from 175 people in total in this paper.



I. 序論

1. 1 本研究の背景と目的

韓国人母語話者との対話の際に、韓国人母語話者が使用する指示詞に違和感を感じたのが契機であった。日本語では「それ」を使用しないといけない場面で、韓国人母語話者は「あれ」を使用していたのである。また反対に、「あれ」を使用しないといけない場面で「それ」を使用していたのである。このように韓国人母語話者にとって、日本語の学習場面において、指示詞は困難で習得しにくい分野ではないかと筆者は考える。また、指示詞の研究を行っている学者達も韓国人母語話者である日本語学習者にとって、特に非現場指示(文脈指示)の使用については困難であると言及されている。そこで、韓国人母語話者が苦手とする指示詞体系を、多岐選択式問題を通して明らかにしていくのが今回の研究の目的である。

1. 2 はじめに

指示詞とは、目に見える事物や話題に登場する事柄が、話し手・聞き手・その他とどのような物理的距離や心理的距離にあり、話し手・聞き手・その他の領域に属するかを指し示す語である。そして、「こ・そ・あ・ど」は、代名

詞・形容動詞・副詞・連体詞の中で、指し示す働きをもつ語をまとめた呼び方である。「これ・それ・あれ・どれ」(代名詞)、「こんな・そんな・あんな・どんな」(形容動詞)、「こう・そう・ああ・どう」(副詞)、「この・その・あの・どの」(連体詞)などがそれぞれ、コ系(近称)・ソ系(中称)・ア系(遠称)・ド系(不定称)の指示系列に整理される。指示詞は大きく3つに分類できる。現場指示、文脈指示、観念指示3つである。

1. 3 先行研究

大槻文彦¹は、「近称」は最も近いもの、「中称」はやや離れたもの、「遠称」は遠いものを指すと定義付けた。ところが、「そこ」などを「やや離れたもの」を指すと考え、遠くにいる人に向かって「そこで待っていてくれ」と言うような場合を説明しがたい。また、自分の腕のように近くにあるものを指して、人に「そこをさすってください」と言うことも説明しがたいなどの欠点がある。佐久間鼎(かなえ)²は、この点を改め、「こ」は「わ(=自分)のなわばり」に属するもの、「そ」は「な(=あなた)のなわばり」に属するもの、「あ」はそれ以外の範囲に属するものを指すとした。相手側に属するものは、遠近を問わず「そ」で表されることになる。この説明方法は、現在の学校教育の国語でも取り

¹<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/863871> 大槻文彦(1889)「語法指南 日本文典摘録」pp. 9-10

²佐久間鼎(1983)「現代日本語の表現と語法」くろしお出版

入れられているが、指示詞にはまだ解明されていない部分が多く存在するのでまだ研究の余地が残されている。

一方、韓国語の指示詞の研究において梅田(1982)³は、文脈内指示の場合、韓国語では一度話題にのぼった素材を指示する際は聞き手が素材に対して未知であれ既知であれ区別なしに「ㄱ」で指示するだけで、日本語のように未知か既知かによって「소」と「아」を区別することはないと述べた上で、この「ㄱ」は特に生々と叙述しようとはしていない普通の叙述の時にも用いられると説明している。

申(1985)⁴は、照応用法(文脈指示)における「ㄱ、소」が前方照応にのみ使用されるのに比べて、「이、코」は前・後方照応ともに用いられるが、「저、아」は文脈指示としては使われないと述べた。「ㄱ、저」とアについては、話し手と聞き手がともに知っている対象の場合、韓国語では普通ㄱが使われ、「저」は条件つき(指示対象のことを急に思い出した時や、その名が思い出せない場合)で使われることもあるが、日本語では「ア」しか用いられないと説明した。

宋(1991)⁵は、코・소・アの用法のうち、非現場指示を独立的话题指示、相対

³梅田博之(1982)「朝鮮語の指示詞」『講座日本語学12 外国語との対照Ⅲ』(明治書院)

⁴申恵景(1985)「韓国語の指示詞i, ku, choと日本語の指示詞코, 소, 아」『SIPHIA LINGUISTICA』18 上智大学

⁵宋晩翼(1991)「日本語教育のための日韓指示詞の対照研究―「코・소・아」と「이・코・저」との用法について―」『日本語教育75号』(日本語教育学会)

的話題指示、単純照応指示(文脈照応指示とも)に下位分類した上で、韓国語の場合には、非現場指示の用法全体を通してもの形式が全然現れないから、現場指示的な「이」の用法を除けば、非現場指示の全てを「그」一つでまかっていると述べた。

韓国でも研究が行われてきた。柳濟權(1984)⁶は、日韓両言語の文脈指示には近称の「이、코」と中称の「그、소」のみが用いられ、この用法では両言語の間では大きな相違が見られないと述べた。そして、話し手が自分の言及した事柄の内容を指す場合、日本語では「コ」と「ソ」による指示が自由であるのに比べて、韓国語ではコが自由であるが「이」はそうでないということを指摘し、このことは両言語における近・中・遠の境界の相違によると説明した。

姜桂千(1992)⁷は、観念対象指示におけるコ・ソ・アに、韓国語の「이」「그、이」、「그、저」がそれぞれ対応すると述べた。また、文脈指示には「저」が現れることがなく、文脈指示の融合型の「ア」には「그」が対応するということを指摘した⁸。日本語同様に、韓国の指示詞体系にはまだまだ解明されていない部分が多く存在する。これからも韓日両国の指示詞の体系を研究する余地が残

⁶柳濟權 (1984)「韓日語指示詞に関する対照研究」誠信研究論文集 第20号 pp. 18-28

⁷姜桂千 (1992)「韓・日両国語의 指示語 対照比較」『日本語教育』8 한국일본어교육학회 pp. 56-58

⁸金原鑑 (2003)「現代日本語指示詞の研究：指示用法における意味 機能及びその使用条件」明治大学 大学院 博士学位論文より再引用

されている。

1. 4 研究方法

研究方法は、多岐選択式問題用紙を作成し、調査を実施する。多岐選択式問題用紙の作成方法に関しては、前回の調査では、JLPT日本語能力検定2級問題の1999年から2008年までの読解・文法の本文中の文脈指示例文⁹、中上級を教える人のための日本語ハンドブック中の文脈指示例文、話し言葉における指示詞コ・ソ・アの研究(迫田、1992)¹⁰内の文脈指示例文を中心に、総30問題を作成したが、質問内容と韓国人日本語学習者のレベルが合致せず、調査結果を破棄せざるを得ない結果になってしまった。問題を抜粋すると、次のようなものである。

(12) (本を貸した相手に) この前お貸しした(*これ/あれ/*それ)ですけど、

いつごろ返していただけますか。

(19) 日本は、1950年代後半から経済の成長がいちじるしく、供給がどんどん

増加し、国民一人あたりの所得も上がってきました。(この/*あの/*そ

の)時期を境にして、需要と供給のバランスが逆転しました。

(23) (ものまねの)ひとつのようすを、顔や手、ときには体全体をつかって、

⁹http://www.newworldjp.com/NewsList/?Columns_id=69

¹⁰迫田久美子 (1992) 「話し言葉における指示詞コ・ソ・アの研究-日本人母語話者の発話資料に基づくコ・ソ・ア分類の枠組み-」 中国四国教育学会 教育学研究紀要 第38巻 第2部

再現する人である。「しない人」は(こんな/*あんな/?そんな)ことは絶対しない。

(25) (友達がおせち料理のバイトで) 大みそかの前の日で、(*これは/あれは/
*それは) あんまり早う作れんでしょう、そりゃー保存食はいいけど。

(30) A: 木村拓哉って格好いいと思う?

B: (*こんな/あんな/*そんな) 格好いい人はいないでしょ。

今回は、前回の反省を踏まえ、総質問数20問、調査内容は、相対的現場指示の融合型用法の「ソ系」「ア系」、文脈指示の独立的話題指示用法の「ソ系」「ア系」、相対的話題指示用法の「ソ系」「ア系」¹¹を中心に筆者自らが作成した¹²。

1. 5 韓・日間の文脈指示の使用法における仮説

先行研究の文脈指示における定義を見ると納得がいくが、これらの定義にも問題点があると指摘されている。

(問題点 1)・「沖縄に行きたいな。あそこは食べ物がおいしいらしいね。」

「らしい」を用いて推測を表しており、これにより沖縄に行ったことがないのは明らかである。黒田(1979)¹³によれば直接的な知識ではなく間接的な知識、概念的知識であるから「そこ」となるべきである。実際には、指示され

¹¹송만익 (2004) 「한국인 일본어학습자를 위한 指示詞코ソア 지도법」 일본학의 지평 pp.310-329

¹²ここには添付せず、論文後部に添付する。

¹³黒田成幸 (1979) 「(コ)・ソ・アについて」 『指示詞』 (ひつじ書房) pp. 91-104

るところの沖縄は、たとえ行ったことがなくても「あそこ」で指示できるの
である¹⁴。

(問題点 2)・富山には、白海老というのがあるそうだけど、あれは高価な
ものらしいね。

・富山には「立山」というお酒があるらしいね。

あのお酒はどこで買えるかな。

文末に「そうだ」「らしい」を用いて伝聞、推論を表している。田窪・金水(2000)
に従えば、伝聞や推論はI-領域¹⁵に属しているからソ系列指示詞によって指
示するべきところだが、実際は、このようにア系列指示詞を使うことも可能
である。

韓国語と日本語の文脈指示を比較しながら研究している、金善美(2006)¹⁶、
迫田(1993)¹⁷、他たくさんの研究者がおられるが、自身なりの仮説を立てて
みようと思う。

まず、前方照応においては、韓国語、日本語ともにズレが無く、ほぼ一致

¹⁴ 呉人恵・芦英順・加藤重広(2004)「指示詞の照応用法に関する日本語と中国語の対
照研究」pp. 3-5再引用

¹⁵ 田窪・金水(2000)「複数の心的領域による談話管理」I-領域 - まだ検証されてい
ない情報、すなわち、推論、伝聞などで間接的に得られた情報、仮定などで仮想的
に設定される情報とリンクされる領域。

¹⁶ 金善美(2006)「コ・ソ・アとi・ku・ceの感情的直示用法と間投詞的用法につい
て」同志社大学言語文化学会『言語文化』8-4: pp. 761-790

¹⁷ 迫田久美子(1993)「日本語学習者と日本人児童による指示詞コ・ソ・アの習得研究-
穴埋めテストの調査結果に基づいて-」広島大学教育学部紀要 第二部 第42号

しているのではないかと考える。例を挙げてみると、

A : さっきのアクション映画、楽しかったね。

B : うん、これはみんなにお勧めできるね。

これを韓国語にすると、

A : 방금 액션영화 재미있었네.

B : 응, 이건 모두들에게 추천할만 하네.

となり、この例文はズレがなく一致している。

後方照応においては、韓国語、日本語の間にズレが生じるのではないかと考える。例を挙げると、

「그거 있잖아, 그거... 아~, 기억이 안 난다.」

「그 때 이야기 기억해? 우리가 30살이 돼서 애인이 없으면 우리 결혼한다는 거.」

これを日本語にすると、

「あれあるじゃない、あれ・・・あ～、思いだせない。」

「あの時の話、憶えてる?俺らが30歳になって恋人が居なかったら俺ら結婚するっていうの。」

この例文ではズレが生じている。

前方照応に関しては、二つの言語間での「コ・ソ・ア」の関係は、ほぼ一致するとみている。後方照応に関しては、「コ・ソ・ア」全てにズレが生じるとみている。日本語での後方照応は「コ・ソ・ア」の研究がある程度進んでいるの

に対して、韓国語の「이, 그, 저」に関しては日本人より文脈依存的でない為、韓国語で話す際には、ほぼ全てを「그」で補えるが、日本語を話す際には母国語の「그」が干渉してしまい、「그」に対応する「ソ系」を多用してしまうのではないか。というのが自身の仮説である。

多岐選択式問題においては、現場指示・文脈指示があるが、現場指示に関して言えば、指示する対象物が、話し手、聞き手の存在する場所から近いのか、離れているかが問題になるだけで、間違える要素が少ないので大部分が正答し、文脈指示に関しては、韓国人母語話者が苦手とする部分であるので、どのレベルも正答率はそこまで高くないものの、やはり上級の被調査者が、他の被調査者よりも高い結果を出すであろうと考えられる。理由としては、上級者の方が、下の級の被調査者より日本語の指示詞の体系を若干理解していると思われるからである。

1. 6 本研究の考察対象

指示詞には様々な種類があるが、本研究において考察対象とするのは、文章や談話において話題となった事物を指し示す「文脈指示」の用法とするが、独立的話題指示の「コ系」、単純照応指示の「コ系」「ソ系」は考察対象から除く。

独立的話題指示の「コ系」に対応するものは「이」しか無く、単純照応に関しては、「コ系」は「이」に対応し、「ソ系」は「그」にそのまま対応してしまうため誤用を見るためには不適格なものだと判断し除くことにした。そして、実際

の現場にあるものを指し示す「現場指示」の独立現場指示「コ系」「ア系」、相対的現場指示の融合型「コ系」、相対的現場指示の対立型「コ系」「ソ系」と、文脈不定称の「ど」の用法も考察対象から除く。これも理由は同じであるが、「コ系」「ソ系」「ア系」が1対1の関係で対応するためである。「ど」も「어느」や「어떤」の意味になるので誤用を判断するには不適格であるため今回の考察からは除くことにする。



Ⅱ．本論

2. 1 多岐選択式の問題用紙の調査人数及び、対象者

今回の多岐選択式の問題用紙の調査は、釜慶大学校の学生を中心に据え、釜山外国語大学の学生、ヨシイ日本語学院の生徒、一般の方々を対象に調査を行った。多岐選択式問題用紙の調査人数は175人である。調査の対象者は、学生、一般人に関わらず、韓国人母語話者であり、日本語学習者または、日本語学習経験者を対象に調査を実施した。

2. 2 多岐選択式の問題用紙の調査時間

前述したように、今回の多岐選択式の問題用紙は筆者が自ら作成したものである。故に、日本人が使用する指示詞体系に近い為、今回の多岐選択式の問題用紙は信憑性が持てるものである。問題の内容自体も難易度をかなり落とし、且つ、問題の文章にはルビをふり、初級の日本語学習者でも読めるように考慮した。

多岐選択式の問題用紙の総問題数は20問であり、問題内容のレベルを考え、そして、漢字には全てルビをふり、読み易くしたことにより、10分程度で、多岐選択式の問題用紙の回答を回収することができた。

2. 3 多岐選択式の問題用紙の概要

今回、韓国人日本語学習者がどのような日本語の指示詞体系を苦手としているのかを調査するために多岐選択式問題を作成した。回答の内容は、現場指示、文脈指示である。更に下位分類を行うと、現場指示は、相対的現場指示の融合型の「ソ系」と「ア系」、文脈指示は、相対表現指示¹⁸、相対的話題指示の「共有のア系」と「非共有のソ系」、そして独立的話指示の「非共有のア系」に分類した。

問題数は先程も記載したように計20問である。内訳は、現場指示8問、文脈指示12問である。更に詳細に分類すると、現場指示は、相対的現場指示の融合型の「ソ系」の問題4問、相対的現場指示の融合型の「ア系」の問題4問である。文脈指示は、相対表現指示が4問、独立的話題指示の「非共有のア系」が4問、相対的話題指示の「共有のア系」が3問、相対的話題指示の「非共有のソ系」が1問の、計20問である。

多岐選択式問題の内容は、筆者が無作為に配置したものである。分析結果を出すにあたって、韓国人日本語学習者が苦手とする指示詞体系を把握するために筆者がカテゴリー化をしたものである。カテゴリー化の分類は、1～4番が相対的現場指示の融合型の「ア系」、5～8番が相対的現場指示の融合型の

¹⁸강일봉 (1998) 「日本語의 指示語 研究」 제주대학교 교육대학원 석사논문 p.29

「ソ系」、9～12番が相対表現指示、13～16番が独立的話題指示の「非共有のア系」、17～19番が相対的話題指示の「共有のア系」、20番が相対的話題指示の「非共有のソ系」である。

多岐選択式問題の分析結果を出す為に階級を分けた。上級、中級、下級と分け、分類基準はJLPTの級毎の認定基準¹⁹を参照し、筆者が分類したものである。まず、上級の基準から見ることにする。上級に入る被調査者は、JLPT1級の資格を保有している被調査者を中心に置き、1年生でJLPTの資格を保有していないが、学院等で2年程度学習してきた被調査者、2年生でJLPTの資格を保有していないが、学院等で1年半から2年程度学習してきた被調査者、4年生でJLPT2級の資格を保有していて、学院等で3ヶ月以上学習してきた被調査者、日本への留学経験が1年以上の被調査者を上級とした。中級に入る被調査者は、JLPT2級の資格を保有している被調査者を中心に置き、1年生でJLPTの資格を保有していないが、学院等で1年程度学習してきた被調査者、2年生でJLPTの資格を保有していないが、学院等で6ヶ月から1年程度学習してきた被調査者、3年生でJLPTの資格を保有していないが、日本への留学経験が6ヶ月から1年以上の被調査者、4年生でJLPTの資格を保有していないが、学院等で1ヶ月から3ヶ月程度学習してきた被調査者を中級とした。下級に入る被調査者は、JLPT3級の資格を保有している被調査者、JLPTの資格を保有していないが、学院等

¹⁹http://www.jlpt.jp/j/about/pdf/2009_2_02.pdf p.3

で2ヶ月から8ヶ月程度学習してきた被調査者を下級とした。このように分類した結果、被調査者の割合は、上級が88人、中級が50人、下級が37人の、計175人となった。

2. 4 多岐選択式の問題用紙を通しての分析調査

多岐選択式の問題用紙を通して多くの学者達が残している既存の調査結果と、今回、筆者が調査した内容を照らし合わせ、既存の調査結果との差異を発見できればと考える。

2. 5 多岐選択式の問題用紙の分析結果

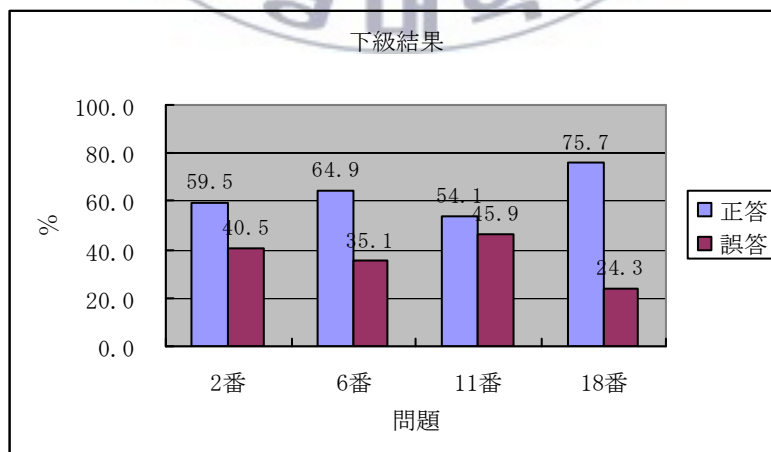
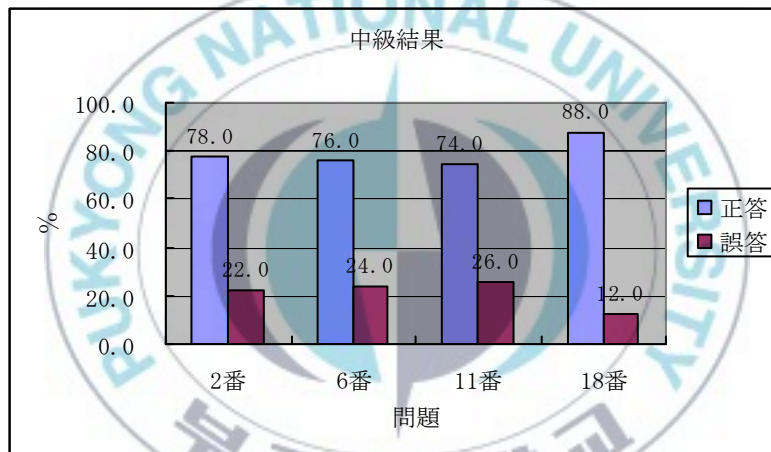
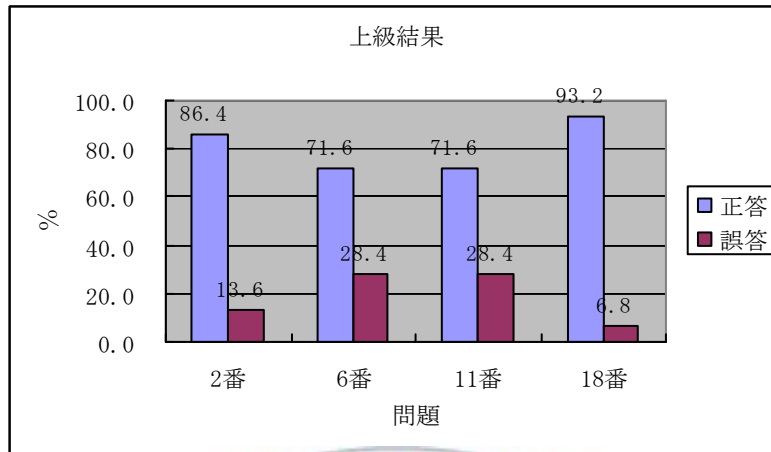
まず、ソ系とア系が50%に近い回答が被調査者、つまり韓国人母語話者である日本語学習者が困難な問題ということが言える。このことを念頭において調査結果をみていくことにする。筆者が分類したカテゴリー別に分けて見ていくことにする。

2. 5. 1 相対的現場指示の融合型の「ア系」

2、6、11、18 番の問題から見ていくことにする。これらの問題は、相対的現場指示の融合型の「ア系」である。

相対的現場指示の融合型の「ア系」とは、話し手と、聞き手が一体化(融合)している現場の「場」の状況から、話し手と、聞き手から、遠くにある指示対

象を指し示したいときに使用する用法である。



上記の説明を念頭において結果を見ていこうと思う。

上級と中級の結果を見ると、2 番と 18 番が、6 番と 11 番の結果より良くなっていることが分かる。同じ系統の問題である 2 番と 18 番、6 番と 11 番とに分けて分析することができる。강진문(1997)は論文の中でこのような結果を報告している。「韓国語では、話し手と聞き手を中心にして近いところは『이(近称)』、はなれていることは『저(遠称)』となっており、『그(中称)』は存在しない」と述べている²⁰。このことを参考にして考えると、上級、中級の被調査者は、2 番、18 番の問題には「ずいぶん遠く」や「空を飛んでいる」のような明らかに遠称と思われる語句が含まれているため「ア系」が圧倒的に多くなり、6 番、11 番の問題のように「向こうの方」や「100 メートル先」というような遠称ではあるが、韓国人母語話者にとっては曖昧と取れるような距離を提示されたことによって中称である「ソ系」が若干増加する傾向が現れたのではなかろうか。

下級の調査結果は、全体的に正答率が低い。が、18 番の問題だけ突出して良い結果を示している。2 番、6 番、11 番を見るとあまり差異がない。この結果を見る限りでは、下級の被調査者は、距離の概念を把握していないのではないであろうか。18 番の問題の「空」という対象物があるのに対して、残りの問題には対象物が存在しない。方向だけを指示されているだけの問題であ

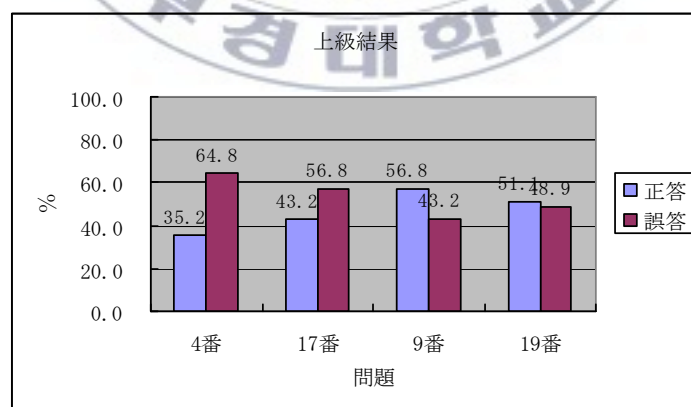
²⁰강진문 (1997) 「日韓両言語における指示詞の対照研究」 立正大学 p. 12

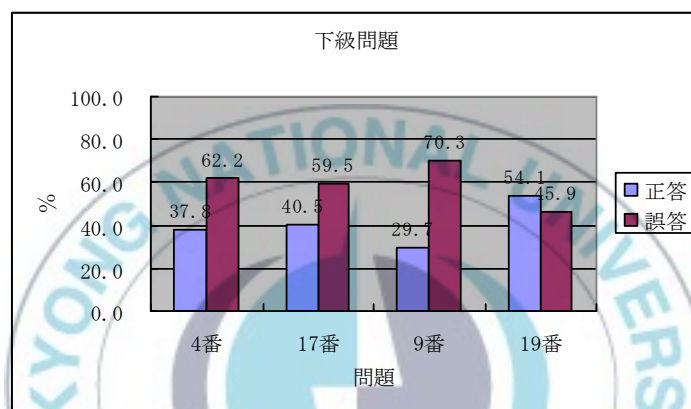
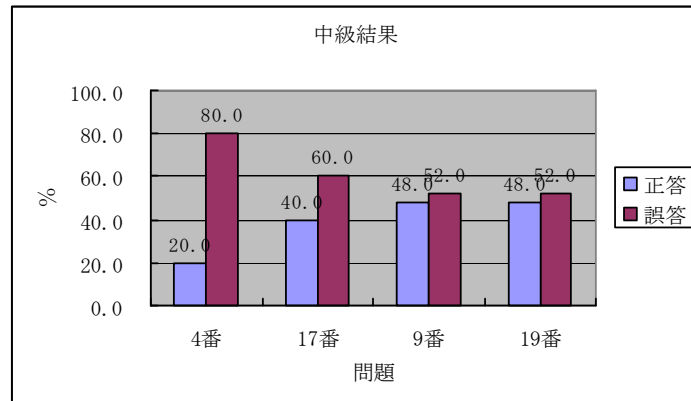
るので下級の被調査者は対象物を理解できず、「ソ系」を選択する被調査者が多かったのではないかと考えられる。

これらの結果を受けて、 相対的現場指示の融合型の「ア系」をまとめると、韓国語にも中称は存在するが、韓国語の中称の概念が曖昧なものであるためこのような結果が現れたのではないかと考える。多岐選択式の問題 6 番や 11 番のような問題において、被調査者に曖昧な距離を提示した結果、「ソ系」の割合が若干増加したと結論付けても良からう。

2. 5. 2 相対的現場指示の融合型の「ソ系」

相対的現場指示の融合型の「ソ系」とは、話し手と、聞き手が一体化(融合)している現場の「場」の状況から、話し手と、聞き手から、近くもなく遠くでもない指示対象を指し示したいときに使用する用法である。





相対的現場指示の融合型の「ソ系」(4、9、17、19番)について見よう。

上級の結果は9番、19番の問題は正答率が上回っているが、4番、17番は誤答率が正答率を上回っている。

中級、下級の結果を見ると、全ての問題において誤答率が正答率を上回っている。中級の被調査者は9番、19番の問題において同一の数値を記録している。同系統の問題であるので数値が同一であるのも理解できる。しかし、下級の結果を見ると9番、19番の問題において倍近い差異が現れている。逆に、4番、17番の結果を見ると、下級の被調査者は近い数値を示しているのに対し、中級の被調査者は倍の差異が現れている。4番、17番の問題だけを取り上げれば

ば、上級も下級もたいした差異はない。17番は、各級を見てもたいした差異は見当たらない。

この相対的現場指示の融合型の「ソ系」を、上記の相対的現場指示の融合型の「ア系」で述べた、강진문(1997)の調査結果を参考にして考えれば、韓国語の現場指示においては「이(近称)」と「저(遠称)」の範囲が広いと述べているので、この 相対的現場指示の融合型の「ソ系」というものは、韓国語では存在しない指示体系であると言っても過言ではない。4番、9番、17番、19番を韓国語に翻訳するとするならばこのようになるはずである。例を挙げるために、4番の問題を抜粋して翻訳してみようと思う。

4番: 「すぐ { ^{はい}そこ / あそこ } のカフェに入ろう。」(正解は「そこ」)

4番: 「바로 { 그 / 저 } 카페 들어가보자。」

となるはずであるが、これでは韓国語の指示体系には当てはまらない。それを踏まえ、韓国語訳を正すと、このようになる。

4番': 「바로 { 이 / 저 } 카페 들어가보자。」

このようになるはずである。他の問題も同様に韓国語に翻訳した際には「그」が消滅し、「이」が台頭する。また、「이」と「저」を当てはめる方が韓国語としては自然な表現になる。そして、被調査者は、回答をする際、「바로 이 카페」よりも「바로 저 카페」の方が文法的にも、韓国語の指示体系的にも自然な文章であると感じるので「저」、つまり「ア系」を選択してしまう傾向が現れたのではないかと考えられる。

また、迫田(1993)はこのように述べている。上級者になっても、「ア」と「ソ」の使い分けが難しい。無意識な会話中、話し手と聞き手の共有の体験や

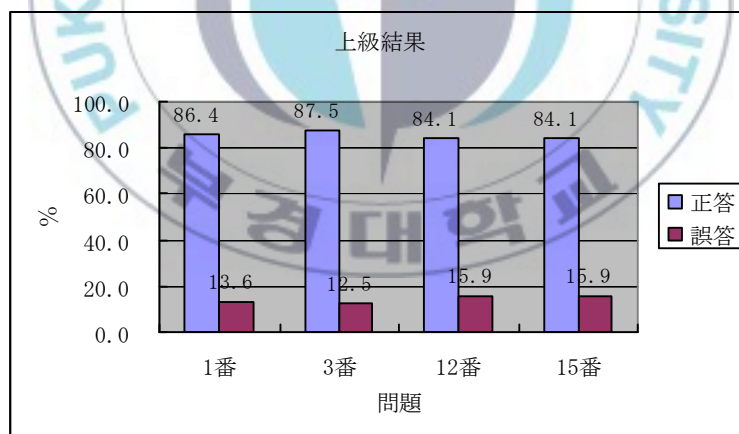
知識でない指示対象でも「ア」を使用する学習者が多い²¹。

KAWAKAMI ERIKO(2010)は、この相対的現場指示の融合型の「ソ系」において、「ア系」への誤用が増加し、学習歴が長くなっても正答率があまり変化しないことから習得が困難な用法である²²と述べている。

誤答が目立ったということは、やはり、韓国語には存在しない指示体系と、迫田(1993)とKAWAKAMI(2010)が述べた、上級になっても「ア系」を使用してしまう学習者が多いという2つの原因が相対的現場指示の融合型の「ソ系」の誤答を目立たせた原因であると考えられる。

2. 5. 3 相対表現指示

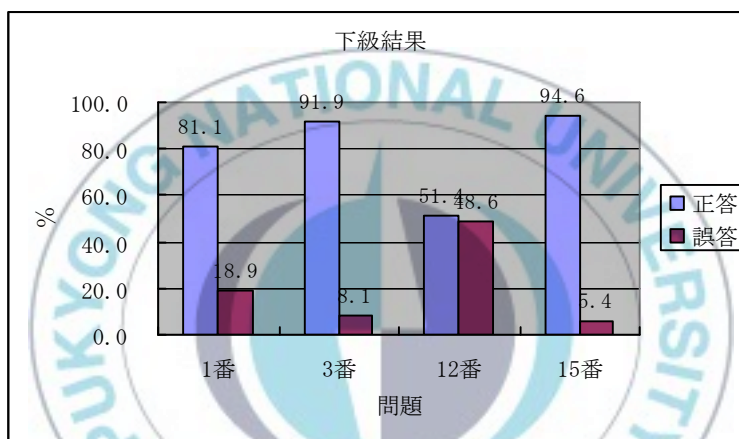
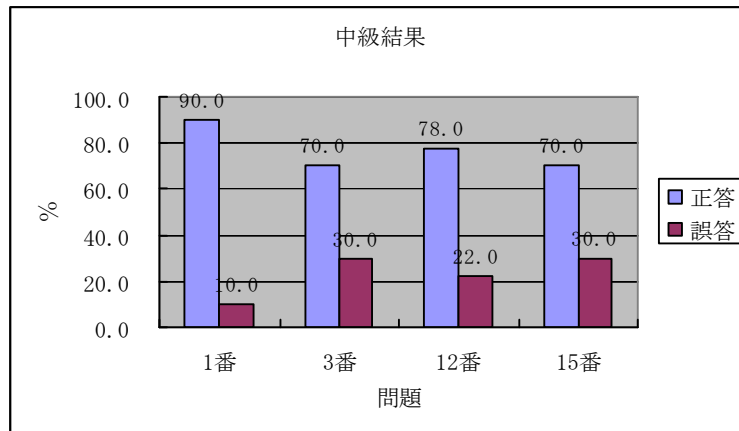
相対表現指示とは、対話の場面で、相手の言葉全体を指し示したり、相手の表現中に出てくる対象を「ソ」で指示する場合を言うものである²³。



²¹迫田久美子 (1993)「話し言葉におけるコ、ソ、アの中間言語研究」『日本語教育』81号

²²KAWAKAMI ERIKO (2010)「韓・日両言語学習者の指示詞 습득에 관한 考察 -설문조사를 통해서-」明知大学校 大学院 碩士論文 pp. 25-26

²³脚注18と同一。p. 29



相対表現指示(1、3、12、15番)の結果をしてみることにする。

上級の結果は全ての問題において類似した数値を示している。12番、15番は同系統の問題であり、同一の数値を示している。

中級の結果も高い正答率を示している。3番、15番の問題に関しては同一の数値を示している。1番の問題は中級の中で一番数値が高く、12番は3番、15番より少し高い数値を示している。

下級を見ると上級、中級より高い数値を示している。12番の結果以外は上級、中級を上回っている。12番の問題だけは半数近い正解率しかない。

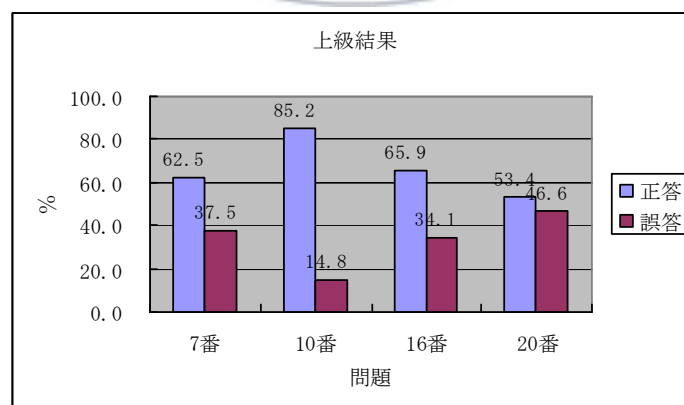
この、相対表現指示については、上級、中級、下級の全ての被調査者は特に混乱もなく容易に正答を選択できる問題であると言える。これらの問題に関して言えば、日本語においても韓国語においても指示詞の体系が類似していると考えられる。問題の回答は「ソ系」だが、韓国語に当てはめても「コ」しか考えられない問題である。各級ごとに見ると、上級は目立った誤答は見当たらない。中級も目立った誤答はないと言えるであろう。下級は 12 番の問題の誤答が目につく。この 12 番の問題の誤答の原因を考えてみるのであれば、B が一時的にでも同席していて、そこにある料理を見て帰った。そして昨日の話を始めた A に対し、B は昨日、実際に見たものを頭の中に思い描いた際に、「あんなに食べたんですかぁ？」と発言してしまった。結果、「ア系」を選択したことになるが、これはあくまで筆者の考えであるのである。12 番の問題以外は全て高い記録を示しているだけに、この問題だけ正答率が下がっているのが理解に欠ける。

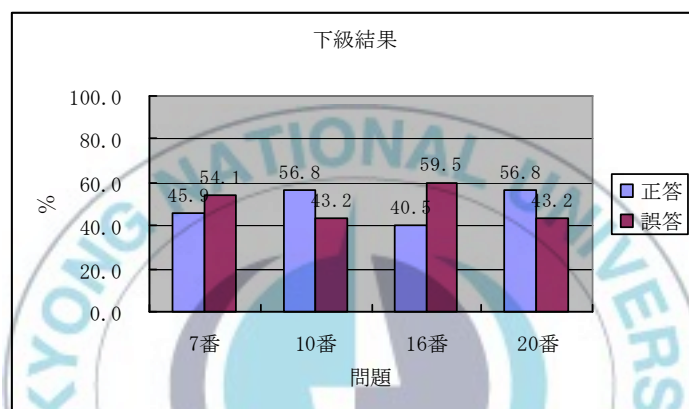
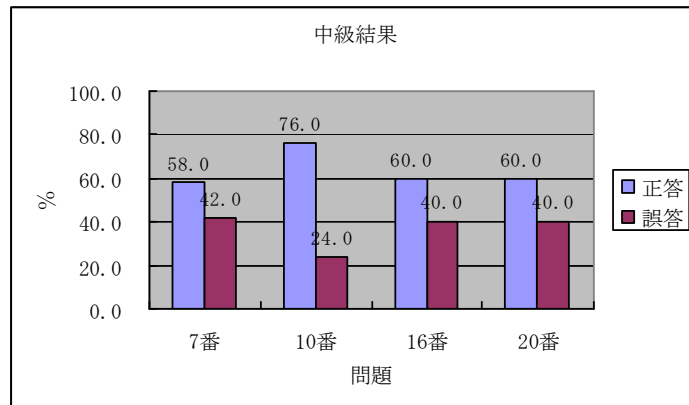
上級の結果と比較すると、中級の結果は良い結果とは言えない。1 番と 12 番、3 番と 15 番という具合に分けて見る事が可能である。中級の結果においては、3 番と 15 番が悪い結果になっており、逆に、下級の結果を見ると、3 番と 15 番がどの級よりも一番高い結果となっている。原因を考えると、指示詞を学習してきた期間によるものではないかと考えられる。下級の被調査者は、中級の被調査者に比べると指示詞の学習経験が豊富とは言えないであろう。経験があまり豊富ではないということは、母語の指示詞の体系に頼

るしかない。韓国語の指示詞と、日本語の指示詞の違いはあれど、「이・그・저」と「코・소・아」が一つずつ対応しているのは周知の事実であろう。下級の被調査者は、この対応をそのまま母語に置き換えて回答した結果、上級、中級よりも良い結果を得ることができたのではないかと考える。中級の調査結果は、母語の指示詞の体系に頼るというよりは、日本語の指示詞の体系をより考慮した結果、日本語の指示詞の「ア系」であるのか、「ソ系」であるのか迷いが生じ、他の級よりは劣る結果になってしまったのではなかろうか。

2. 5. 4 独立的話題指示の「非共有のア系」

独立的話題指示の「非共有のア系」とは、聞き手がいない「場」の状況において、指示される対象が観念的に存在している話し手の経験的知識や、記憶の素材であると考えられて場合、それを明らかに指し示したいときに使用するものである。





独立的话题指示の「非共有のア系」(7、10、16、20 番)について見てみることにする。

上級の結果は、10 番の問題は高い正答率であるが、残りの問題はあまり差異がない。この問題は、筆者が仮説で取り上げた、

「그거 있잖아, 그거... 아~, 기억이 안 난다。」の問題と同系統の問題である

と言える。16 番の問題を抜粋し、韓国語に翻訳すると、

16 番: 「昨日すれ違った{その/あの}女性きれいだったなあー」(正解は「あ」)

16 番: 「어제 스쳐갔던 { 그 / 저 } 여자 이뻐네。」

となるが、韓国語の指示体系を考慮したときに、「저」は不自然である。であるので、「ㄱ」に対応する「ソ系」を選択する被調査者が多かったのではないかと考えられる。

中級の結果も 10 番が高い結果ではあるが、全体を通してみてもあまり差異がない。上級の結果と類似した数値を示している。誤答の理由も上級と同一と考えてもおかしくはないはずである。であるので、上級と、中級の 10 番の結果以外は、類似した結果になっているのではないであろうか。

下級の結果を見ると、半数程度の正答率である。7 番、16 番は「ソ系」を選択し、10 番、20 番は「ア系」を選択している。正答、誤答に一貫性がないのを見ると、「ソ系」と「ア系」を交互に選択した可能性も考えられる。

安は、独立的話題指示の「非共有のア系」の調査結果でこのように述べている。「独立的話題指示のア系」は韓国語ではソ系で示される。韓国人母語話者に「ア→ソ」の誤用率が高いことから、韓国人母語話者は韓国語からの「負の転移(干渉)」の影響を特に強く受けていると考えられる²⁴と述べている。

KAWAKAMI の調査においては、「ソ系」への誤用率が高く、学習歴が長くなってもあまり習得が進んでいない²⁵と述べているが、筆者の調査では、上級、中級の調査結果では、安や KAWAKAMI のような結果は得られなかった。下級だ

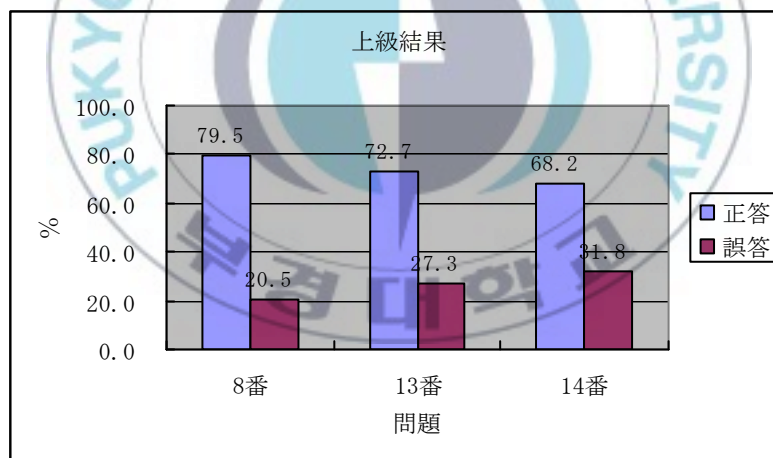
²⁴安龍洙 (2005) 「日本語学習者の非現場指示コソアの習得に関する研究-韓国人学習者と中国人学習者を比較して-」 茨城大学留学生センター紀要第3号 p. 40

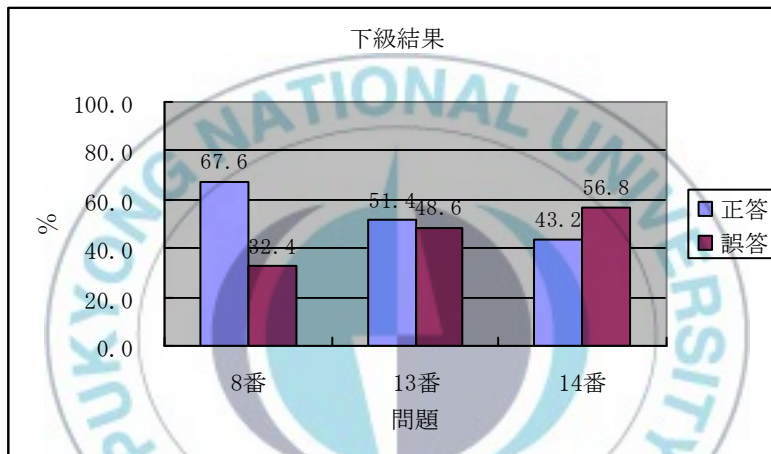
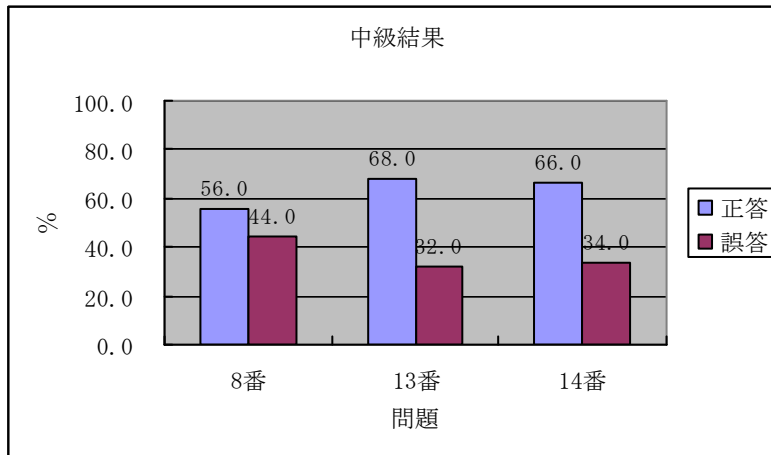
²⁵脚注22と同一。pp. 31-32

け安や KAWAKAMI の結果に近いものが現れたが、「負の転移(干渉)」と言うまでの結果ではないと考える。上級、中級の結果を見ても、著しく「ア系」が多いという訳ではないが、「ア系」が「ソ系」を上回っていることは事実である。「負の転移(干渉)」とは程遠い結果と言える。

2. 5. 5 相対的話題指示の「共有のア系」

相対的話題指示の「共有のア系」とは、指示される対象は、話し手、または聞き手の経験的知識・記憶を同時に共有している素材で、それを話し手が言及するだとか、聞き手が確認するだとかするときに使用するものである。





相対的話題指示の「共有のア系」(8、13、14 番)を見てみよう。

上級の結果は全体的に高い数値を記録している。13 番と 14 番の問題は形式も類似しているため回答結果もほぼ同一の数値を示している。上級の被調査者は相対的話題指示の「共有のア系」に関しては、韓国語の干渉をあまり受けずに、正答を導き出している。

中級の結果は、正答率が上回っているが、上級の結果と比較すると 20%近く正答率が減少する。中級の被調査者も 13 番と 14 番目の結果が類似してい

る。正答率が下がったのはやはり、韓国語に翻訳した際に「ㄱ」が現れるため

であろう。8番の問題を抜粋し、韓国語に翻訳すると、

8番: 「うん、うん、{その / あの}野球選手のね!...違う?」(正解は「あの」)

8番: 「응, 응, { 그 / 저 } 야구선수 맞지!... 아니야?」

となるが、「저」を選択するのは不自然である。であるので「ㄱ」に対応する「ㄴ系」の回答率が上がったと考えるのが妥当であろう。

下級の結果は、誤答が階段のような形になっている。問題を解く毎に正答率が落ちてしまっている。下級の結果を見ると、安が述べている「負の転移(干渉)」の影響を受けているのではないかと考えられる。

ここでも安は、「ア→ソ」の誤用率が非常に高いことから、韓国語の「ㄱ」(ソ系)の影響を強く受けていると思われる²⁶。と述べていて、KAWAKAMI²⁷も同じ見解を述べている。筆者も誤答が多いであろうと予想していた問題である。

理由としては、上記にも翻訳したものがあるが、

8番: 「うん、うん、{その / あの}野球選手のね!...違う?」(正解は「あの」)

8番: 「응, 응, ㄱ 야구선수 맞지!... 아니야?」

を見ると解るように、韓国語の指示体系では、このような問題を「ㄱ」で現すために、多岐選択式問題でも「ㄴ系」を選択する被調査者が多いであろうと筆者は予想していた。しかし、実際の結果を見てみると、上級に関してはほと

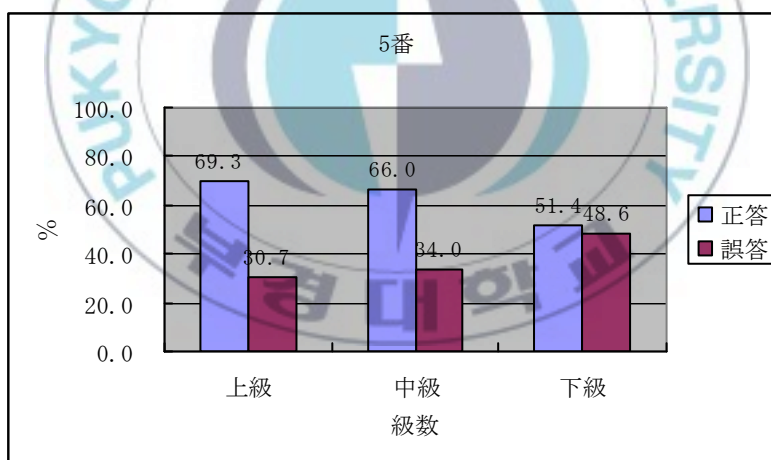
²⁶脚注24と同一。pp. 42-44

²⁷脚注22と同一。pp. 33-34

んど「ユ」の影響を受けていないように感じ、中級も正答率は落ちるものの「ユ」の影響を強く受けているという印象はないと感じる。下級に関しては「ユ」の影響を受けていないとは言えない結果であると言える。

2. 5. 6 相対的話題指示の「非共有のソ系」

相対的話題指示の「非共有のソ系」とは、指示される対象は、話し手や聞き手のうちの片方、もしくは、どちらかの一方でもない経験的知識や記憶の素材で、それを丁寧に話し手が言及するだとか、聞き手が確認するだとかするとき使用するものである。



最後は、相対的話題指示の「非共有のソ系」(5番)である。

この問題は、左から、上級、中級、下級の順番にグラフ化したものである。

上級の結果から見ていくことにする。約 70%の正答率を示している。上級の結果としては良い結果とは言えない。16 番の問題と類似した問題が存在する。それは、16 番の問題で、16 番の問題は独立的話題指示の「非共有のア系」

であるが、この正答率が 66%であった。それを見ると、相対的課題指示の「非共有のソ系」の約 70%は結果としては上昇してはいるが、相対的課題指示の「非共有のソ系」の回答には迷いが生じている。

中級の結果も、上級の結果とあまり差異はない。中級の 16 番の問題と比較してもあまり差異はない。16 番、20 番の問題が共に 60%であるので、中級の被調査者にとって、独立的課題指示の「非共有のア系」も、相対的課題指示の「非共有のソ系」も回答しやすい問題とはいえない。

下級の結果は、50%という結果が出ている。下級の 16 番の独立的課題指示の「非共有のア系」の結果は 40%である。この結果を見る限りでは、やはり下級の被調査者は、文脈指示の体系をよく理解できていないのか、初級の指示体系を頼りにして、そのまま「ソ系」を選択している可能性があるのではないだろうか。

安は、相対的課題指示の「非共有のソ系」についてこのように述べている。誤用率が、レベルが高くなるにつれて高くなってしまう。韓国人母語話者は初級では母語のルールに頼り、ソ系を優先すると思われる。しかし、学習がある程度進んだ段階で韓国語はソ系しかないのに対し、日本語ではソ系とア系の両方が使われることに気付き、ソ系を優先させる意識が弱まりア系を優先するようになると推測される。そのため、日本語のレベルは高くなるにも

かわらず「ソ→ア」の誤用率は高くなってしまおうと考えられる²⁸。と述べている。

KAWAKAMI は、調査結果において、このように述べている。学習歴が長くなるにつれて正答率が高くなるものの、聞き手が既知か未知かによって「ソ系」と「ア系」を使い分けるということが、学習歴が長くなっても難しい部分であることがわかる²⁹と述べている。

「誤用率が、レベルが高くなるにつれて高くなる」部分に関しては中級と下級でこの点が見られるので当てはまるが、上級を見ると正解率は上がっているので、合致するとは言えない結果である。上級の被調査者は、「ソ系」を選ぶ傾向も見られるが、ある程度、日本語の指示詞の体系を理解していると筆者は考える。「韓国人母語話者は初級では母語のルールに頼り、ソ系を優先する。」という部分に関しては、下級の結果を見る限りでは、筆者にとって納得のいく部分である。

²⁸脚注24と同一。pp. 41－42

²⁹脚注22と同一。pp. 32－33

Ⅲ. 結論

3. 1 まとめ

まず、相対的現場指示の融合型の「ア系」のまとめから述べていきたいと思う。相対的現場指示の融合型の「ア系」は、話し手と聞き手が同じ空間において「あっち」「あそこ」などと指示する指示詞であるので特に問題はないと考えていたが、下級で低い正答率を記録していた。上級、中級は問題なく高い正答率を記録していた。下級はなぜこのような低い結果になってしまったのであろうか。今回の結果を見る限りでは、指示対象がはっきりとしているかどうかによるものであると思われる。下級において、「空」という指示対象がある問題は良い回答結果を示し、指示対象ない問題では似通った回答結果を残している。これが下級で低い結果になった原因ではないかと考える。

次は、相対的現場指示の融合型の「ソ系」の問題について述べたいと思う。今回の調査の中で、一番、被調査者達にとって困難であったと思われる問題である。筆者は、この相対的現場指示の融合型の「ソ系」で被調査者達がつまずくとは思わなかった。なぜならば、上の相対的現場指示の融合型の「ア系」と問題の差異がないからである。全体の結果を通して見ても「ア系」の回答が多く目立つ。先程も上記で述べたように、韓国語の現場指示の体系は「이」と「저」の指し示す範囲が広く、「그」の範囲は、「이」と「저」に取り込まれてしまう。その為に韓国人母語話者は、文法的に合致する「ア系」を選択したのではないであろうか。

続いては、相対表現指示であるが、この問題に関しては、上級、中級、下級の間には大きな差異は見られなかった。意外であったのは、下級の正答率が高かったという点である。1つの問題を除いては、上級、中級を上回る程の結果である。この相対表現指示から文脈指示に入るが、相対表現指示だけに關して言えば、文脈指示を学習し始めた段階の学習者でも容易に解ける問題であると筆者は考える。学習初期段階である学習者にとっては、「ソ系」を選択する傾向があるので、この問題は容易に回答できるはずである。

次は、独立的話題指示の「非共有のア系」の問題である。上級、中級の結果は似通っていて、下級だけが誤答が目立つ結果になった。上級、中級の結果はグラフの分布も似通っているので、この独立的話題指示の「非共有のア系」の問題に関しては、安が言及している「負の転移(干渉)」はそれほど問題がないと言っても過言ではない。下級は「ソ系」と「ア系」が2つずつ選択されていた。独立的話題指示の「非共有のア系」は下級の被調査者には把握しにくい分野であると言っても良いと思う。しかし、安が言及している程の誤用ではなかった。

続いて、相対的話題指示の「共有のア系」であるが、安が言及したほど文脈指示において韓国人母語話者は「コ」に影響されていない。反対に「ア系」の回答が多数で、正答を選択している被調査者の割合が多い。上級の被調査者は日本語の文脈指示を把握しているのか、良い回答結果が示されている。中級の被調査者の回答結果も、比較的良い結果が示されている。下級の結果は、

回答を見る毎に正答率が下がっているのが把握できる。上級、中級では、正答である「ア系」を選択している被調査者が多い。安が述べている「負の転移（干渉）」は、筆者が行った多岐選択式問題では上級、中級ではあまり起こらず、下級において若干、安の調査結果と類似したものとなった。

最後は、相対的話題指示の「非共有のソ系」の結果である。この問題に関しては1問しかないので比較し難いが、16番の問題と比較してもらえると解り易いかも知れない。韓国人母語話者がよく間違えると思われる問題である。筆者はこの手の問題の話題を実際の会話で聞いたことがあるが、「ソ系」を使用する人より、「ア系」を使用する人達が多かったのを記憶している。それを踏まえて、問題に入れてみたが、結果を見ると、各級とも正答率が上回っていた。各級毎に見ると正答率は上昇しているので、安の言及した「韓国人母語話者は初級では母語のルールに頼り、ソ系を優先する。」という記述には当てはまらない調査結果になった。

今回、多岐選択式問題用紙の調査を行うにあたって、筆者が予想していた結果とは相反する結果が現れた。本論でも引用させてもらったが、安や、KAWAKAMI とは全く相違する調査結果が現れたのも興味深い。

筆者は、文脈指示、特に相対的話題指示の「共有のア系」の誤答が多いと予想し、「ユ」に対応する「ソ系」を多用してしまうと仮説を立てたにもかかわらず、意外にも、現場指示の相対的現場指示の融合型の「ソ系」が韓国人日本語学習者にとって一番困難な問題であることを知ることができた。分析をして

いく中で、相対的現場指示の融合型の「ソ系」が韓国語の指示体系に存在しな

いことが判明したことが一番大きな成果であったと言える。

筆者の調査結果においては、韓国人母語話者が苦手とする日本語の指示詞

は、文脈指示ではなく、現場指示の相対的現場指示の融合型の「ソ系」である

ということが明らかになった。



양케이트 조사에 협조를 부탁드립니다

안녕하세요. 이 양케이트는 논문에 사용하기 위한 것입니다. 논문주제는
『한국인 일본어학습자의 일본어 지시사 「こ・そ・あ」 사용실태』입니다.
이 양케이트의 결과는 논문작성에만 이용하며, 이름은 적지 않습니다.
바쁘시겠지만 양케이트 작성에 도움을 주시면 감사하겠습니다.

부경대학교 교육대학원 일본어교육전공 구무반

※ 옳다고 생각되는 것을 ○로 표시해주세요.

<보기> A: これは何ですか?

B: { これ / あれ } は、^{けいたいでんわ}携帯電話です。

1. A: ^{わたし}私の^す好きな^た食べ物^{もの}は、^{こうやどうふ}高野豆腐です。
B: うん? ^{こうやどうふ}高野豆腐? { そんな / あんな } ^た食べ物^{もの}あったっけ?
2. A: ^{おれ}俺の^{にもつ}荷物 { そんな / あんな } ^{ところ}ところにあったよ。
B: ^{ずいぶん}ずいぶん^{とお}遠くに^お置かれた^ももんだね。
3. A: ^{ねが}お願い^{がある}があるんだけど、^{まんえん}100万円^か貸してくれない?
B: { そんな / あんな } ^{かね}お金^{ある}あるわけ^{ない}ないじゃないですか!
4. A: ^{すぐ}すぐ { ^{そこ}そこ / ^{あそこ}あそこ } ^{はい}のカフェ^{に入ろう}に入ろう。
B: ^{なんか}なんか、^{すごい}すごい^{れきし}歴史^{かん}を感じる^{カフェ}カフェね...
5. A: ^{まえ}お前に^{しょうかい}紹介^{ひと}したい^人人が^{いる}いるんだけど。
B: ^{おれ}俺に? { ^{その}その / ^{あの}あの } ^{ひと}人^{って}っていく^つつなの?
6. A: ^む向^{こう}この^{ほう}方^{でんしゃ}に^{えき}電車^みの^駅駅^{が見える}が見えるでしょ?
B: ^{よく}よく^み見えない^{わね}わね。 { ^{そこ}そこ / ^{あそこ}あそこ } ^{かしら}かしら?
7. ^{かみ}(髪^のが^{じぶん}伸びた^{すがた}自分の^み姿^{ひとり}を見て^{一人}一人で)
^{こんど}「今度^{また} { ^{その}その / ^{あの}あの } ^{びようしつ}美容室^{行かない}行かないとなあ。」

8. A: 木村拓哉^{きむらいたくや}っていくつになってもカッコいいよねー。
B: うん、うん、{ その / あの } 野球選手^{やきゅうせんしゅ}のね!……違う?^{ちが}
9. A: こらー!! 勉強^{べんきょう}もしないでどこ行くの!!
B: ちょっと { そこら / あそこら } 辺^{へん}の公園^{こうえん}まで行ってきまーす。
10. (友達^{ともだち}が言^いっていた話^{はなし}を忘^{わす}れ)
{ そいつ / あいつ } 何^{なん}て言^いってたっけな?
11. A: どこでテレビ買^かうと安^{やす}いのかなあ?
B: 100メートル先^{さき}の { その / あの } 電気屋^{でんきや}さんなんてどう?
12. A: 昨日^{きのう}、カレーと、おにぎりと、ラーメンと、それから天ぷら^{てんぷら}食べたんだ。
B: えー、{ そんなに / あんなに } 食^たべたんですかあ?
13. A: 昭和^{しょうわ}っていい時代^{じだい}だったよな。
B: ああ、{ その / あの } 頃^{ころ}は、人間^{にんげん}も温^{あたた}かかったよ。
14. (AとBは、同じ大学^{おな}に通^{たいがく}う同級生^{かよ}だった。)
A: 十年前^{じゅうねんまえ}の大学^{だいがく}の卒業式^{そつぎょうしき}で、なんで俺^{おれ}は告白^{こくはく}なんかを…。
B: もう、{ その / あの } 頃^{ころ}のことは忘^{わす}れろよ。
15. A: 噂^{うわさ}なんだけど、来年^{らいねん}また、韓流^{かんりゅう}ブームが来^くるらしいよ。
B: へえー。でも、{ そんなに / あんなに } たいしたことないでしよ。
16. A: 昨日^{きのう}すれ違^{ちが}った { その / あの } 女性^{じょせい}きれいだったなあー。
B: ふーん。
17. A: 急^{きゅう}にお腹^{なか}が痛^{いた}くなってきた…。
B: あっ、すぐ { そこ / あそこ } にトイレがあるわ。

18. A: { その / あの } ^{そら}空を^と飛んでいるものは何だ? UFOか? ^{なん}

B: ただのひこうき飛行機だね。

19. A: ちょっと { その / あの } へんでもさんぽしてくるわ。

B: 気を付けて行ってらっしゃい。

20. (買い^か忘れた^{わす}のもがあり、思い^{おも}出^だした。)

{ そこ / あそこ } まだ開^あいてるかしら?

★ 다음 항목들은 설문분석에 필요한 내용입니다. ○를 하거나 ()안에 써주세요.

• 일본어관련 전공 학생입니까?

① 예 → (졸업 / () 학년)

② 아니요

• 일본어학원 등에서 일본어를 배운 적이 있습니까?

① 예 → () 년 혹은 () 개월 정도

② 아니요

• 본인이 생각하기에 자신의 일본어 실력은 어느정도라고 생각합니까?

① 상급 ② 중급 ③ 하급

• 일본어 능력시험 / JPT점수 (2개 가지고 있는 경우는 다 적어주세요.)

① JLPT(급) ② JPT(점) ③ 없음

• 일본체류경험이 있습니까?

① 1년 이상

② 6개월 ~ 1년

③ 6개월 이하 또는 없음

대단히 감사합니다!!

参考文献

- 강일봉 (1998) 「日本語의 指示語 研究」 제주대학교 교육대학원 석사논문 p. 29
- 강진문 (1997) 「日韓兩言語における指示詞の対照研究」 立正大学 大学院 博士学位論文
- 민경모 (2008) 「한국어 지시사 연구」 연세대학교 대학원 박사논문
- 송만익 (2004) 「한국인 일본어학습자를 위한 指示詞コソア 지도법」 일본학의 지평 pp. 310-329
- 安龍洙 (1996) 「韓国人学習者の指示詞『コ・ソ・ア』の習得における母語の影響について-非現場指示の場合-」 東北大学文学部日本語学科論集 第6号
- 安龍洙 (2005) 「日本語学習者の非現場指示コソアの習得に関する研究-韓国人学習者と中国人学習者を比較して-」 茨城大学留学生センター紀要 第3号
- 梅田博之 (1982) 「朝鮮語の指示詞」 『講座日本語学12 外国語との対照Ⅲ』 (明治書院)
- 姜桂千 (1992) 「한일양국어의 지시어 대조비교」 『일어교육』 8 한국일본어 교육학회
- 金善美 (2006) 「コ・ソ・アとi・ku・ceの感情的直示用法と間投詞的用法について」 同志社大学言語文化学会 『言語文化』 8-4 : pp. 761-790

- 金善美 (2007) 「指示詞が指し示す範疇について—現代韓国語と日本語の対照を中心に—」 『言語文化』 9-4 : pp. 613～pp. 634 同志社大学言語文化学会
- 金原鑑 (2003) 「現代日本語指示詞の研究：指示用法における意味 機能及びその使用条件」 明治大学 大学院 博士学位論文
- 呉人 恵・芦 英順・加藤 重広 (2005) 「指示詞の照応用法に関する日本語と中国語の対照研究」 富山大学人文学部紀要
- 佐久間鼎 (1983) 「現代日本語の表現と語法」 くろしお出版
- 迫田久美子 (1992) 「話し言葉における指示詞コ・ソ・アの研究」 『教育学研究紀要第38巻』 中国四国教育学会
- 迫田久美子 (1993) 「コミュニケーションにおける『あれ』の用法と機能」 『日本語教育』 81号
- 迫田久美子 (1993) 「日本語学習者と日本人児童による指示詞コ・ソ・アの習得研究-穴埋めテストの調査結果に基づいて-」 広島大学教育学部紀要 第二部 第42号
- 白川博之 他 (2002) 「中上級を教える人のための日本語ハンドブック」 pp. 2～pp. 13
- 申恵景 (1985) 「韓国語の指示詞 i, ku, cho と日本語の指示詞 コ, ソ, ア」 『SIPIA LINGUISTICA』 18 上智大学
- 宋晩翼 (1991) 「日本語教育のための日韓指示詞の対照研究—「コ・ソ・ア」

と「이・그・저」との用法について－」『日本語教育75号』（日本語教育学会）

单娜 （2004）「あるトライリンガルの言語使用についての調査-日本語指示詞の使用を中心に-」 『三言語併用環境における日本語の発達に関する研究』2004 年平成 14~15 年度科研(萌芽研究 課題番号 14658077)研究成果報告書

本橋美樹 （2006）「日本語学習者の指示形容詞の使用」 関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集16号

余語祐子 （2001）「コ・ソ・アの認知言語学」 関西大学 卒業研究

柳濟權 （1984）「韓日語指示詞に関する対照研究」誠信研究論文集 第20 pp. 18-28

KAWAKAMI ERIKO （2010）「韓・日両言語学習者の 指示詞 습득에 관한 考察 -설문조사를 통해서-」明知大学校 大学院 碩士論文

Tan. Alvin Tapia （2001）「会話におけるコ・ソ・アの管理」 桜美林大学大学院 修士論文要旨

ーサイトー

<http://www.alc.co.jp/jpn/teacher/world/qanda.html#1>

（スペースアルク）

http://www.newworldjp.com/NewsList/?Columns_id=69

(日本語能力試験の問題)

<http://www.nihongokyoshi.co.jp>

http://nihongokyoshi.co.jp/manbou_data/image_html/a5524061.html

(ARC ACADEMY)

<http://nihongo-online.jp/tree02/treebbs.cgi?kako=1&all=847&s=847>

(ことばや教え方の質問箱)

http://www.jlpt.jp/j/about/pdf/2009_2_02.pdf

(2009年度第2回日本語能力試験実施要項)

<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/863871>

(「語法指南 日本文典摘録」 pp. 9-10)

